

マイナビ電子書籍・VOD比較 映画「罪の声」の感想調査



「罪の声」の感想・評価を調査！

 **DMM TV**

完全無料配信中！

5.0



Sさん: ★★★★★

ストーリーを見ていくと色々な謎にぶつかるのですが、それを考えながら物語に没入していくとより物語に厚みが出てくるのを強く感じられます。やっぱり原作があるのでその辺の部分をばっちり補完しているのが魅力的ですね。小栗さんの言動一つ一つに共感もできるのですごく見ていて楽しいです。

Oさん: ★★★★★

シリアスな場面のオンパレードなのですが、それがこの映画の醍醐味とっていいですね。骨太な作品をすごく欲していたのですごく見た後は満足感がありました。やっぱりキャストが真剣に芝居している姿を見るとすごく胸がワクワクしますし目が離せませんね。

Hさん: ★★★★★

小栗さんと星野源さんの共演ということでその異色の組み合わせにすごく胸がときめきましたね。やっぱり星野さんは逃げ恥の演技が頭にあったのですがそれとは全く違う芝居をしていて驚きました。こんな引き出しもあったのかとすごく感心してしまい意外性があるのでその点にも注目ですね。

Uさん: ★★★★★

宇野祥平さんの演技に惚れ惚れしましたね。まさにリアルの人という感じで演技をしているとは全く思えませんでしたね。こういう人本当にいるのではないかと言う錯覚を起こさせてくれる彼の演技はまさに名優と言っていいと思います。この映画をきっかけに彼のファンになりました。

Tさん:★★★★

この映画は本当に社会派と言っていいと思います。原作も存在しているのですがそちらの方も興味を持ってしまい読んだら映画とはちょっと違う箇所もあって読み応えがありました。でも自分の中では映画の方がテンポ感がいいと思うのでこちらの方が個人的には好きですね。

Nさん:★★★★

この映画の存在を知ったのはテレビで日本アカデミー賞の番組をやっていたのがきっかけでした。すごくキャストの皆さんが迫真の演技を披露していてとても感心したことを覚えています。中でも小栗旬さんのシリアスな演技がとても魅力的で胸がすごくときめきました。彼の台詞回しはいつもニュアンスを変えているので見応えがありますね。

Sさん:★★★★★

未解決の事件を扱った映画で、内容的にはかなり重いです。ただ、こういう事件って段々と知っている人が少なくなっていくものなので、風化させないためにも映像化するのは重要なことなんだろうなと強く感じます。というか、キャストがものすごく豪華じゃないですか？小栗旬さんと星野源さん、この二人の演技の相性がなかなか良かったです。

Mさん:★★★★★

脚本がアンナチュラルやMIU404を書かれた野木亜紀子さん。彼女の作品は現代の問題や、人とは何かを主題にする作品が多い印象。今回の題材は、日本の「報道」について。表現の自由がある日本で、言葉を選ばずとも記事にできてしまいその言葉のとらえ方は多数。自分の今後を見直すきっかけをくれる作品

Hさん:★★★★★

凄く重たい話であり、耐えるに耐え難い作品であった。善良だと思って生まれ育ったとしても、知らない間に何かに関わっており、助けを出したくても出せない。とてももどかしさを覚えた。自分の行動を振り返るきっかけとなり、報道とは何か考えさせられた

Wさん:★★★★★

「罪の声」は、実際の事件に基づいた緊迫感溢れるサスペンスドラマで、登場人物たちの心理描写が深いです。リアルな描写と巧妙なプロットが織りなす緊張感が魅力で、ラストまで目が離せません。特に、複雑な人間ドラマと意外な展開が秀逸で、観た後に深い余韻を残します。社会の問題を掘り下げた内容も考えさせられるポイントです。

Mさん: ★★★★★

実際にあった未解決事件を小栗旬さん演じる阿久津と星野源さん演じる曾根が過去の事件に翻弄されながら解決していくのですが、まず何よりカッコいいシーンが多い。しかも迫力のあるシーンもあり、ハラハラドキドキしながら見ていました。

Tさん: ★★★★★

最後の結末がああなるとは思わなかったです。

自分がそうしてしまっていたらという思いと、その事実に葛藤する星野源の姿がとてもよかったです。

脚本が野木先生で、星野源が出ているという逃げ恥コンビで見る前から期待値が上がりました。

Rさん: ★★★★★

実際に起きたあのグリコ森永事件についての映画です。その時の子どもの声、それは誰か？という疑問に立ち向かう新聞記者、そして、もしや自分では？と過去の記憶を紐解く男性。単に犯人を探すだけではなく、そのこの後人生がどうなったかという非常に突き詰めたテーマを持った力作です。

Hさん: ★★★★★

原作を読んでから映画を見た。主役の二人ともが原作のイメージと重なり、見続けていて心地よかった。(主人公のおじさん役はちょっと違うかったかも...)自分が小学生の時に実際に起こった事件、この事実が本当なら...と考えさせられる内容だった。「子どもに罪はない」ということが身にしみた映画だった。

Hさん: ★★★

星野源が演じる曾根と、小栗旬が演じる阿久津。それぞれの立場から事件について調べを進めていく中で、少しずつ明らかになっていく事実。2人の距離が、少しずつ近づいていく過程で生じる緊迫感がたまらなく面白かったです。実際に起こった事件をモチーフにしているという事もあり、BGMを抑えた演出がそのことを彷彿させ、独特な雰囲気にも没頭することが出来た事も良かったです。

Kさん: ★★★★★

テンポよく話が進んでいく中で、伏線がどんどん回収されていくところがこの作品の良さだと思います。実際にあった事件がもとになっているだけあって、リアルな雰囲気も漂っていて、そこに俳優たちの名演技が加わることによって素晴らしい作品となっていました。事件は発生した時点だけではなく、事件が終わったあとも人を苦しめ続けるという現実を実感させられました。

Pさん:★★★★

実際に起こった昭和の大事件を元ネタとし、事件の真相の仮説を描くフィクション作品です。事件当時、私は生まれていないので、この作品を見るまで事件があったことすら知りませんでした。なので、仮説である本作品を見ても違和感なく楽しむことができました。意図せず巻き込まれた子供達の壮絶な人生、苦悩に心が揺さぶられる作品です。

Rさん:★★★★★

前半は事件の流れの説明で、少し地味だなと感じました。阿久津と曾根が出会ってからは、事態が動き出して面白く観られました。

ともあれ親のしでかしたことの精算が、家族に回ってくるのは普通に可哀想だなと思いました。

Eさん:★★★★★

深い人間ドラマが見事に融合した作品でした。昭和の未解決事件を追う記者と、事件に巻き込まれた家族の視点から描かれる物語は、謎解きと共に強く感情を揺さぶられました。特に、真実を追い求める二人の主人公の熱意と苦悩が胸を打ち、過去と現在が交錯する展開が見応えありました。事件の真相だけでなく、人間の絆と救いの物語でもあり、とても感動しました。

Nさん:★★★★★

映画「罪の声」は、昭和時代に実際に起きた未解決の誘拐事件を題材にしたミステリーです。物語は、過去の事件の真相を追う新聞記者(小栗旬)と、幼い頃に事件に関わった声の提供者(星野源)が出会い、事件の真相に迫っていく展開です。事件の背後に隠された真実が少しずつ明らかになる過程は緊迫感に満ち、観客を引き込みます。

Tさん:★★★★★

ふと耳にしてしまった過去の事件の証拠の音声、自分のものであったとしたら...?という、ミステリーです。昭和の事件で何度もニュースで流れていた公衆電話の音声にも、きっと同じような子供がいたはず_____星野源さんが演じた紳士服職人・曾根が臍げな記憶の蓋をこじ開けると、そこから思いがけない過去が溢れてくるのです。日々の小さな幸せと、埋もれた悲劇が折り重なり、えもいわれぬ化学反応を起こす、そんな物語でした。

Tさん:★★★★★

昭和の忘れられない事件をテーマに塩田武士さんが書いたサスペンスを、数々の名作ドラマ・映画を作ってきた土井裕泰監督と、『空飛ぶ広報室』や『逃げるは恥だが役に立つ』でタッグを組んだ脚本家の野木亜紀子さんが実写化した秀作です。未だに解明されない真実を埋めていくかのような緻密なミステリーですが、その中心人物であった仕立て屋の男性を星野源さんが演じ、重厚さと軽妙さの絶妙なバランスで物語を牽引しています。

Hさん:★★★★★

菓子メーカーをターゲットにした実在の事件を題材に描かれた映画で、フィクションと明言されてはいますが、あまりにリアルで「本当にありそうだ」と感じる説得力がある作品です。実在の事件のあの関係者は今はどうしているのか、と想像せずにはいられない。意図せず巻き込まれた人の悲しみや苦しみが胸に迫りました。

Nさん:★★★

大きな謎の一部をあらわに(かもしれない)した佳作。実際にあった誰もが知るこの事件を評して「目標にされた企業は経済的ダメージを受けたが、人が殺されたわけではない。義賊的なグループによる犯行」とする評もあるようですが、実はこの事件に巻き込まれて人生を滅茶苦茶にされた人がいた(のかも)という、実際の事件を振り返るうえで大切な気づきを教えてくれる作品です。

Wさん:★★★★★

自分が知らないところで犯罪に関わっていたなんてそれも子供時代に・・・
もしも、自分が自分の知らないところで犯罪に加担させられていたとしたら・・・と、とても考えさせられる映画です。
人にはそれぞれの考え方があり、それぞれの正義がありますが、その正義のためなら何をしてもいいという考えになるとこのような悲しい思いをする人を生み出してしまうのだらうなという映画です。

Nさん:★★★★★

映画館で観ましたが、涙なしでは観れませんでした。
モチーフとなった実際の未解決事件に興味があった事と、小栗旬さんと星野源さんが好きで観ましたが最後はどう終わるのかと最初からずっと楽しんで観る事が出来ました。
アクションシーンなどはなく、暗くて静かなシーンが多い為、夜中に家でじっくりと一人で観るのにおすすめです。

Cさん:★★★

実際の事件を元にしたものとは知らずに見ましたが、展開がとても早く(特に前半あたり)何が起きているか把握するのが大変でした。ですが話が進み後半は前半との繋がりが読めてきて結論も少し意外性がありよかったです。

Tさん:★★★★★

原作の本を忠実に再現していて面白かった。しかし、もし自分が知らない間に事件の加害者側で巻き込まれていたら、と考えると怖くなったし、巻き込んだ大人たちは許せないと感じた。実際にテープの声の子供たちは壮絶な人生を歩んでおり、何の罪のない人、ましてや身内を巻き込むなんて考えたらずにも程があると思った。警察でもないのに事件の核心にどんどん迫る2人の演技にはとても引き込まれた。

Qさん:★★★★

この映画は、単なる事件の真相を追う物語ではなく、人間の心の闇や、過去と現在が複雑に絡み合う人間の業を描いた作品だと思います。

未解決事件というテーマは重いですが、だからこそ、多くのことを考えさせてくれました。

Yさん:★★★★

実際の事件に基づいた緊迫感あふれるミステリードラマです。消えた人々と声を巡る謎が中心に描かれ、巧妙に組み立てられたストーリーが観る者を引き込みます。主演の主演の小栗旬さんと星野源さんの演技が光り、深刻なテーマを扱いながらもリアルで迫力のある展開が続きます。サスペンスとドラマが絶妙に融合し、緊張感を持続させる作品です。